

2023  
10  
No.167

# 喜多方普及だより

【祝】第64回福島県農業賞受賞

たなか けい

新規就農部門 田中圭さん



9月12日 表彰式にて

9月12日に「第64回福島県農業賞」の表彰式が行われ、喜多方市松山町でアスパラガスを栽培している田中圭さんが新規就農部門で受賞されました。田中さんは、喜多方市の非農家出身ですが、平成31年4月にアスパラガスの専業農家として就農し、現在は、地域でもトップクラスの生産量を上げています。

田中さんは、子供の頃から「農業をやりたい」という漠然とした夢を抱いていました。民間企業に就職しましたが、東日本大震災等による風評被害にあえぐ故郷の様子を目にして、「自分も何かしたい」という思いを強くし、就農を決意しました。就農に先立ち、埼玉県の農業法人で5年間、農業の基礎や農場経営等を学んだ後、喜多方市の就農支援制度を活用してUターンしました。平成30年4月から1年間、農業次世代人材投資事業（準備型）を活用して栽培技術や経営管理を学んだ後、青年等就農資金を活用して本格的に営農を開始し、現在は40aのアスパラガスを栽培しています。

就農に当たってアスパラガスを選んだ理由として、喜多方市の特産物として多くの生産者が熱意を持って取り組んでいること、定植から収穫まで1年かかるが、一度定植すると継続した収入が見込めるなど、安定した農業経営が期待できることをあげています。

田中さんの農業経営は、基幹従事者はご本人のみで雇用労力も限られていますが、アスパラガスハウスはいつもきれいに管理されています。これは、各種管理作業のスケジュール管理を的確に行うことで、最小限の労力で最大限の成果が上がるように工夫しているためです。また、若手生産者の視察研修の受け入れや農業高校生へ農業の魅力を伝える活動にも積極的に取り組んでいます。

今回の受賞は、新規就農者として優れた農業経営を実践していることなどが高く評価されたことによるものです。田中さんは、自身の農業経営の発展とともに、アスパラガス生産を目指す新規就農者を育成するトレーナーとして、産地の維持・拡大に貢献したいと考えています。田中さんのもとで新規就農者が育ち、喜多方市のアスパラガス産地がさらに活性化することが期待されます。



内堀知事と記念撮影（左：田中圭さん）



# スマート農業の取組み

## ●きゅうりの環境測定実証ほ

喜多方農業普及所では、きゅうりの栽培技術や収量向上に向けて、環境測定機器の実証ほを設けています。環境測定とは、温度、湿度、日照、土壌水分、二酸化炭素等の栽培環境を測定して、数値として捉える技術です。近年では、環境測定機器の改良やスマートフォン等の普及により、生産ほ場から離れている場所からでも、アプリ等で測定値を確認することができます。

例えば、1日の夜間の最低温度や、日中の温度の上がり方など温度変化を確認できると、きゅうりに適した栽培環境づくりに繋げることができます。

環境測定を通して、地域の更なる栽培技術や収量向上を目指していきます。



環境測定装置



スマートフォン表示画面

## ●ドローンで播種した水稻が順調に生育しています！

「みどりの食料システム戦略推進交付金事業（グリーンな栽培体系への転換サポート）」を活用して、水稻におけるドローンを利用した栽培体系を実証しています。5月19日には現地検討会を開催し、ドローンでの播種作業や除草剤散布作業を実演しました。その時に播種した水稻は順調に生育しており、収量も期待できます。今後は収量調査や作業時間の分析などを行って、技術の有効性を検討していきます。



登熟期の水稻

## ●スマート農業等を活用した現地の視察研修

7月7日に、会津農林高校耶麻校舎2年生14名を対象にフレッシュ農業講座を開催し、農業への関心を高めてもらうためにスマート農業の事例や地域の先進的な農家を視察しました。

最初の視察先である株式会社五十嵐ファームでは、ICT技術を活用した分娩監視カメラによる素牛繁殖の労力負担軽減技術を視察しました。次に、株式会社渡部ふぁーむでは、きゅうりとトマトの水耕栽培技術や地域の先進的な農業経営について説明していただきました。最後に、ヤンマーアグリジャパン株式会社の協力の下、産業用ドローンとラジコン除草機の操縦を体験しました。

生徒たちは興味・関心を持って楽しく学んでいる様子でした。今回の講座が就農を考えるきっかけになることを期待しています。



株式会社五十嵐ファーム



株式会社渡部ふぁーむ



ヤンマーアグリジャパン株式会社



## 第1回普及推進懇談会を開催しました！

農業者や有識者、関係機関の意見・要望等を農業普及指導活動に反映させ、地域の実態に応じた効果的・効率的な普及活動を展開できるよう、8月24日に本年度第1回となる懇談会を開催しました。

懇談会では、福島県協同農業普及事業及び喜多方農業普及所における令和5年度の普及活動の概要について説明し意見交換を行いました。

また、現地検討会を2箇所で行い、令和3年度から北塩原村において「スマート農業社会実装推進事業」で取り組んでいるきゅうりハウス実証ほや喜多方市内の新規就農者がアスパラガス栽培を新たに導入し安定経営を行っている状況等について、それぞれのは場を視察し検討していただきました。大変暑い中、真剣に御覧いただき質問も多く出され有意義な懇談会となりました。

本年12月には、第2回懇談会を開催し、令和6年度の普及指導計画等について御意見をいただく予定です。



きゅうりハウス



アスパラガスハウス

## ふくしま県GAPを取得しました！

7月21日に会津若松合同庁舎でふくしま県GAP（通称、FGAP）の認証書の交付式が執り行われました。喜多方農業普及所管内では、新たに3名の方がFGAP認証を取得されました。認証取得を契機に、皆様の経営発展が図られることを期待しております。

GAPは、食品汚染や農作業事故など、農業経営における「リスク」を事前に把握し、その対策を講じることで、持続的かつ信頼される営農を続けるための手法です。また、経営のムダを洗い出すことで、経費の削減を図ることも期待できます。今後の経営発展に向け、日々の作業の記録や事故発生時の対応シミュレーションなど、皆様ができることから始めてみましょう。現在県では、GAP認証取得に係る支援を行っておりますので、ご興味がありましたら喜多方農業普及所までお問い合わせください。



左からたちかわもと 基毅さん、たちかわよし と 立川 好人さん、たちかわ とおる 徹さん

## TOPICS

## そばの里産地交流会 in 西会津

管内は全国有数のそば産地で、新そばシーズンには県内外から多くの来客が見込まれます。一足早い8月18～19日に西会津町では、駐日リトアニア大使や友好協会の関係者を招いたそばの里産地交流会が開かれました。バルト三国の一つ、リトアニアはソバ栽培が盛んでそば粥（カーシャ）で食べられています。大使は会津の蕎麦を堪能され、町内散策や製粉施設・酒造店等も視察されました。町内では芸術分野やそば（食文化）の交流が行われています。



駐日リトアニア大使（右より一人目）



そば畑や花見山を散策（萱本集落）



# お知らせ

9月～10月は秋の農作業安全確認運動期間！農作業事故防止に努めましょう！

## 重点推進テーマ「徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策」

収穫作業で忙しくなる秋は、農作業事故が起こりやすくなります。日々の農作業で常に「安全」を意識し、慣れや油断による事故を防ぎ、時間と気持ちに余裕をもって作業をしましょう。

また、トラクター事故の半数以上は転倒・転落が要因となっています。作業時は、周囲の安全確認を十分におこない、万が一の事故に備え、作業に適した服装・ヘルメットを着用し、シートベルトを締めて作業をしましょう。



令和5年度ポスター

## 稲わらは燃やさずに有効活用しましょう！

稲わらや初殻の焼却は、貴重な有機資源の損失となるだけでなく、近隣住民への煙害、火災の発生、交通障害、観光地としてのイメージダウンなどに繋がる可能性があります。本田へのすき込みや堆肥化、園芸作物への活用、畜産農家への提供などにより、地域での有効活用を図りましょう。特に本田へのすき込みは、土壌の保水力や窒素供給力を向上させ、米の品質向上に繋がります。



## 様々なリスクに備えて収入保険に加入しましょう！

昨年8月上旬の豪雨災害や今年梅雨明け後の高温・干ばつ等、農業経営を取り巻く環境は誰も予測できない状況にあります。様々なリスクから農業経営を守る収入保険に加入しましょう！

○令和6年から収入保険制度が改正されます。

### 1. 「青色申告実績が1年分で加入可能に」

加入に必要な青色申告実績が、これまでの2年分から1年分のみに短縮されました。白色申告から変更する場合や新規に青色申告を始める場合に、翌年から加入することができます。

### 2. 「保険での補償を充実するタイプの新設」

積立方式の負担を軽減し、保険方式の補償を充実する新たな補償タイプができました。

### 3. 「気象災害特例の新設」

甚大な気象災害の被害を受けた加入者の、被害年の収入金額を補正し基準収入を算出する特例ができました。

○お問い合わせ 福島県農業共済組合 会津支所 TEL 0241-28-1111

## 令和6年度 福島県農業総合センター農業短期大学校 学生募集

農業短期大学校では、実践的な農業の技術力と経営力を備えた地域のリーダーとなる農業者を育成するため、学生を募集しています。募集要項、学校案内については、喜多方農業普及所にお問い合わせいただくか、農業短期大学校農業経営部 入試担当（0248-42-4113）またはホームページ（<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37207a/bosyuu.html>）までお問い合わせ願います。

### 募集人員及び修業年限

全体定員60名 修業年限2年

- 【水田経営学科】15名程度
- 【野菜経営学科】15名程度
- 【果樹経営学科】10名程度
- 【花き経営学科】10名程度
- 【畜産経営学科】10名程度

### 推薦入校試験

- 試験日 令和5年11月2日(木)
- 試験科目 小論文、面接試験
- 出願期間 令和5年10月3日(火)～10月17日(火)

### 一般入校試験(前期)

- 試験日 令和5年12月18日(月)
- 試験科目 学力試験(国語総合、数学I)、面接試験
- 出願期間 令和5年11月20日(月)～12月8日(金)

### 一般入校試験(後期)

- 試験日 令和6年2月9日(金)
- 試験科目 学力試験(国語総合、数学I)、面接試験
- 出願期間 令和6年1月11日(木)～1月31日(水)

～内容に関するお問い合わせ、農業に関する相談はこちらへ～

会津農林事務所 喜多方農業普及所

住所 〒966-0901 喜多方市松山町鳥見山字下天神6-3

電話 0241-24-5743、5745 FAX 24-5746 E-mail [kitakata.af04@pref.fukushima.lg.jp](mailto:kitakata.af04@pref.fukushima.lg.jp)

ホームページ

喜多方農業普及所

検索

